

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年十月度 入選句（投稿総数三千二百五句・一般投句数六百五十一句）

特選

稲妻や利那つながる天と地と

瑞穂市

伊藤 恵水

稲妻は当地では「いなびかり」とも言はれてるが、空中電気の放電する時にひらめく火花、多く屈折して見える。またそれが空に反映したものの動作の敏速なさま、また瞬時的な速さのたとえに用いる。その様子を利那つながる天と地とよまれた素晴らしい句だと思えます。稲妻は稲の結実の時期に多いところから、これによつて稲が実るとも云はれてる。

満天の星の御褒美秋の旅

千葉県印旛郡

寺嶋 和江

今年の天候は今迄に経験した事が無い位の、高温・大雨・台風等の悪天候続きで、晴れ男、晴れ女と自慢されていた方も、雨の日に合い失格された方も多いと思います中で、秋の旅の折秋空いっぱいに星が照らし輝く、満天の星を御褒美に頂かれた、常日頃善行を積まれてる、大変幸せな方です。それを素直に俳句になされたよい句です。これからも健康で幸せ多い人生をお送り下さい。

彼岸花無縁仏の無二の友

大垣市

けせら・セラ

彼岸花は中国から渡来したといわれ、多年草で、秋には人里近く田畑の畦畔や堤防などに、真っ赤な花をつけて群生します。秋の彼岸のころに咲くので「彼岸花」と呼ばれ、墓地の近くでよく見かけることから、所によつては「死人花」とも呼ばれています。多年草ですし、彼岸が過ぎて花は落ちても線形の深緑色の草がたくさん生えて来て、淋しい日々の無縁仏さんには何により無二の友と喜んで居ら様子をよくよまれたよい句です。

秀逸

廃工場敷地びっしり草風

安八郡神戸町

早津 郁男

あれこれと告ぐること増へ墓洗ふ

不破郡垂井町

北村 廣美

秋茄子の紺の艶やか里の味

養老郡養老町

田中 秀草

停電の夜の長さや窓に月

大垣市

赤塚 つねみ

伊吹嶺の素顔あらわに秋日和

岐阜市

小湊 順子

何事もなかつたやふな今日の月

大垣市

吉田 てるみ

運動会八百人から孫さがす

大垣市

高津 喜久子

富士山中朝靄の先霧深し

愛知県名古屋市

小松 とみゑ

こぼれぬよう両手で包む丸い月

大垣市

大杉 すみゑ

水面まで真赤に染めて曼珠沙華

大垣市

新町 恵子

入選

旅の恥かきすてかきすて大垣城	大阪府大阪市	石田	瑛子
網戸して蜂の侵入防ぐ城	愛知県半田市	稲葉	京閑
天守窓小さく城下の梅雨深し	愛知県半田市	加藤	清美
見るあほうに徹して郡上踊りかな	兵庫県明石市	田村	満生
関ヶ原濃尾へ展く夏野かな	福岡県遠賀郡	桐山	甫
夕焼に手を合はせるも老いのゆえ	愛知県額田郡	平松	京師
里芋の煮ゆる夕餉や子沢山	大垣市	傍島	豊子
栗おこわ胸はり笑顔初物だ	京都府宇治市	上野	忠夫
台風に叩き付けらる道の木木	大垣市	福永	峰子
鈴なりの小柿を活けて峠茶屋	大垣市	坪井	克枝

入選

黄金の波打つ彼方稲の秋	大垣市	臼井	秀子
人も木も疲れのこりし野分かな	大垣市	平野	きぬよ
しわ多し旧友出合う秋祭	羽島市	伊藤	みさの
秋晴や満艦飾の合宿所	大垣市	久保田	悟義
新走提げ来て遅刻許さるる	大垣市	早崎	美弥子
停電が復きゆう出来ぬ夜長かな	大垣市	永島	みすゑ
相知らぬ人にも会釈墓参り	大垣市	中西	弘子
沈黙の空颱風の迫り来し	岐阜市	花川	和久
駄目と言う祖母説きふせて買う花火	大垣市	永島	みすゑ
普請場の木槌の音や天高し	愛知県名古屋市	岩田	遊泉

選者吟

今朝採りし松茸並べ道の駅

庄一郎